



# 楽しく育てた野菜があしたの元気をいっくろくです

大手種苗会社勤務の現役時代に培った技術と知識を生かして、有機・無農薬の市民農園「荒見ファーム」で技術顧問をしている臣 康雄さん。  
毎日安全でおいしい野菜を食べ、家にこもらずアウトドアを楽しみ、人の役にも立っていると自負を持って、充実した生活を送っています。

市民農園「荒見ファーム」技術顧問

おみ やす お  
**臣 康雄さん (石高町)**

平成19年の開園から10年超  
初心者もベテランに成長

有機・無農薬の市民農園「荒見ファーム」は平成19年に開園しました。

定年後の家庭菜園を楽しむ仲間で作る「落葉会」、定年後の地域参加を目的に活動する男性ボランティアグループ「ドリーム18会」園芸部、健康的なまちづくりを目的に活動する市民グループ「これからの行動隊」市民農園部など、臣さんがかわるさまさまな団体や人の尽力と協力を得

ての開園でした。

臣さんは、荒見ファームの技術顧問として、30区画(現在は44区画に拡張)の農園利用者に野菜栽培の技術を教えアドバイスしながら、家庭菜園の楽しさや有益性などを体感してもらっています。開園した当初はほとんどの会員が菜園初心者、野菜の栽培どころか土に触った事もないという人もいました。

苗や種、農具を用意して、手取り足取り丁寧に野菜づくりを指導してきて、いつの間にか開園から10年の節目も超えています。

した。今では開園当時の利用者が役員となり、ファーム運営の一助を担うまでになりました。  
**食べて、喜ばれて、健康に家庭菜園が5511111111111111**

臣さんは、有機・無農薬の家庭菜園に人の心身を健康にしてくれる多くの要素があると考えています。

- ・ 百姓に定年はない
- ・ 医食同源、安全な野菜で健康
- ・ 土と触れ合う栽培の工夫と適度な汗で、体も脳も健康
- ・ 無農薬で人と環境に優しい
- ・ 家族の絆づくり、仲間づくりと社会環境にも優しい
- ・ などなど、家庭菜園や土いじりに興味のある人には良いことづくめ…と胸を張ります。

**アユタツの気持ちに楽しむ田舎の11111111111111111111**

臣さんは、野菜づくりだけでなく、人生を楽しむエキスパートでもあります。アウトドアが大好きなご夫婦のホームページ「百姓のホームページへようこそ」を開設しています。臣さんは農園の野菜の生育や作業、趣味のスキーやハイキングの感想などを、奥様は茶道のお稽古の事などを書き込み、応援しあっています。

9月に冬野菜の苗を定植する作業に集まった時も、一人ひとりが作業をしながら、合間に声をかけ合っていました。野菜の苗がぐんぐんと育つてくると愛情も感じると思います。会員の中には「仕事もあるので作業はあまりできないですが、職場も近いので毎日見には来ています」と話す人もいました。

「80歳になりますが、夢や未来の構想は今も豊かです。シニアや大人の生きがいと仲間づくり、子供たちには故郷と思い出作り、守山のまちに田舎の「コミュニティ」の良い部分を創出していきたい。市民農園の有機・無農薬野菜作りがその役に立っている」と話す臣さんは、週に3回以上市民農園に通って会員たちの野菜づくりを見守っています。



夏野菜の季節が終わり、荒見ファームの菜園にキャベツやハクサイ、ブロッコリーなど冬野菜の苗が定植されました。収穫が楽しみです。(9月9日)



菜園の基本になる土づくり(堆肥づくり)は会員が共同で行っています



畑で採れた夏野菜 夏野菜のプレゼントに喜ぶ福島県の子もたち



春のバーベキュー、秋の芋煮会で舌鼓、会員同士も家族も交流を深めています